



●組立てされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

⚠ 注意 …組立てを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

⚠ 注意



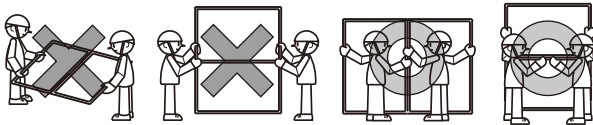
- 漏水の原因になりますので、下記事項をお守りください。
- ・段窓無目に張付けてあるシール材は、絶対にはがさないでください。
- ・無目端部防水テープは必ず圧着してください。

組立て上のお願

- 必ず指定の組立てねじを使用してください。
- ガラス破損防止のため、ガラスは枠を躯体に固定した後にしてください。
- 枠連結部に無理な力をかけないでください。枠が変形するおそれがあります。移動する場合は、立てたまま段窓無目部分をしっかり支持してください。
- 段窓組立て後の取付けは、「リプラス アタッチ枠 取付け説明書」を参照してください。
- 反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズ付いたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

組立て後の取扱いとお願い

- 組立て後、枠を横にして持ったり、枠連結部に無理な力をかけたりしないでください。また、移動する場合は、立てたまま段窓無目部分をしっかり支持してください。ねじが抜けて破壊するおそれがあります。



※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	段窓無目に張付けてあるシール材をはがしていないか	☐
2	無目端部防水テープは圧着されているか	☐

■段窓無目の種類

段窓無目	
サーモス用(内外色組合せ)	サーモス用(内外同系色)
TW用	

■部品一覧

※下表の記号は本文図中の記号を表します。間違いのないよう使用してください。

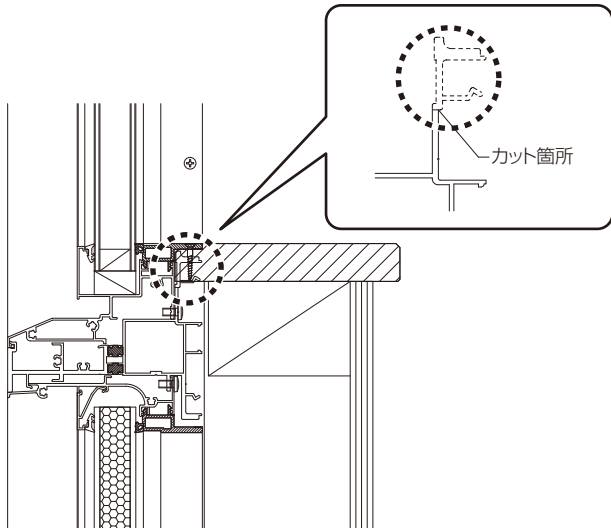
記号	①	②
姿図		
	バインド小ねじ φ4×8	皿小ねじ M4×6
	枠取付けねじ	アングル取付けねじ

段窓無目組立部品セット	
無目端部防水テープ	無目端部キャップ

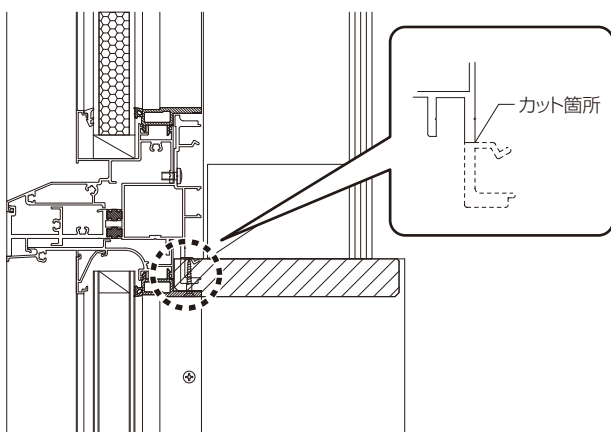
1 段窓無目のカット(開口縮小の場合)

開口縮小に使用する場合、納まりにより段窓無目のカットをしてください。

【下を開口縮小する場合】



【上を開口縮小する場合】



2 釘打ちフィンのカット

専用設定以外の新設サッシ枠の場合は、釘打ちフィンのカットをしてください。詳細は、「リプラス アタッチ枠 組立て説明書」を参照してください。専用設定の新設サッシ枠の場合は、次項へ進んでください。

3 段窓無目との連結

<装飾窓／装飾窓の場合>

▲ 注 意



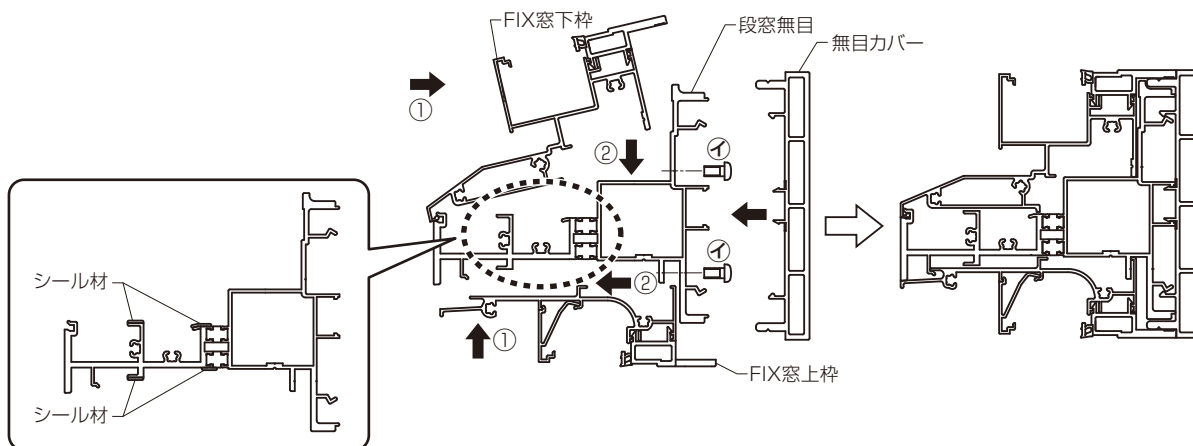
●段窓無目に張付けてあるシール材は絶対にはがさないでください。漏水の原因になります。

①上下のサッシ枠をそれぞれ組立てます。

②段窓無目と上下枠を一体に組合わせ、端部を面一に合わせ、右端の穴から段窓無目の穴をすべて④でねじ止めします。

※段窓無目に張付けてあるシール材のリケイ紙は、はがしてください。その際、シール材をはがしたり、破損しないようにしてください。

※段窓無目とサッシ上・下枠の室外側面が同一面になっていることを確認してください。



③無目カバーに取付いている端部ピースとサッシ縦枠アングルの位置を合わせ、無目カバーをはめ込みます。

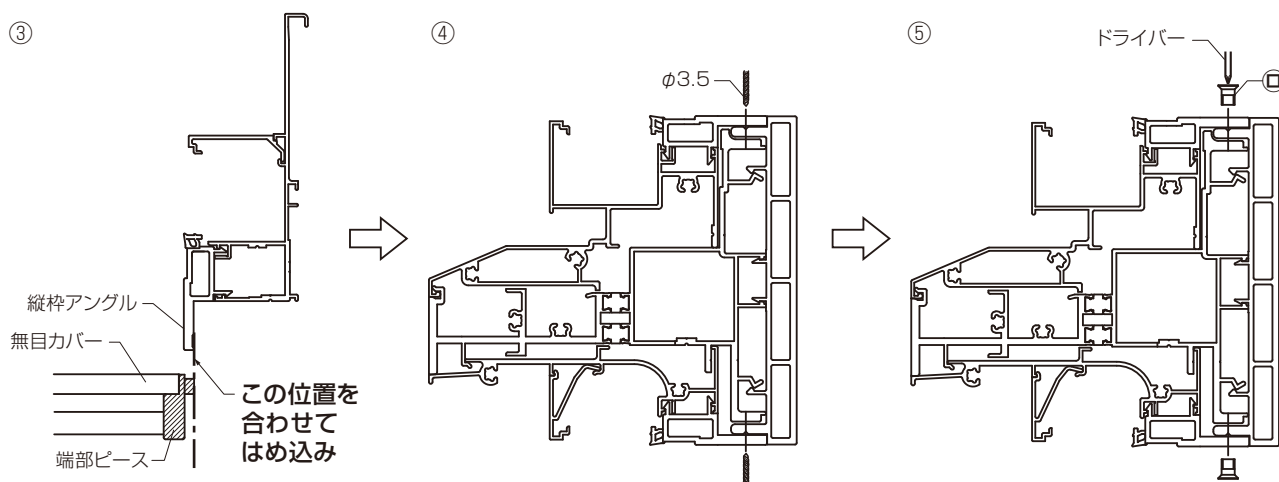
④サッシ本体のアングル取付け穴から無目のV溝に、 $\phi 3.5$ の下穴を開けます。

⑤アングル取付けねじを取付けます。

※無目カバーの浮き・ガタツキがないことを確認してください。

※アングルねじはまっすぐにねじ込んでください。

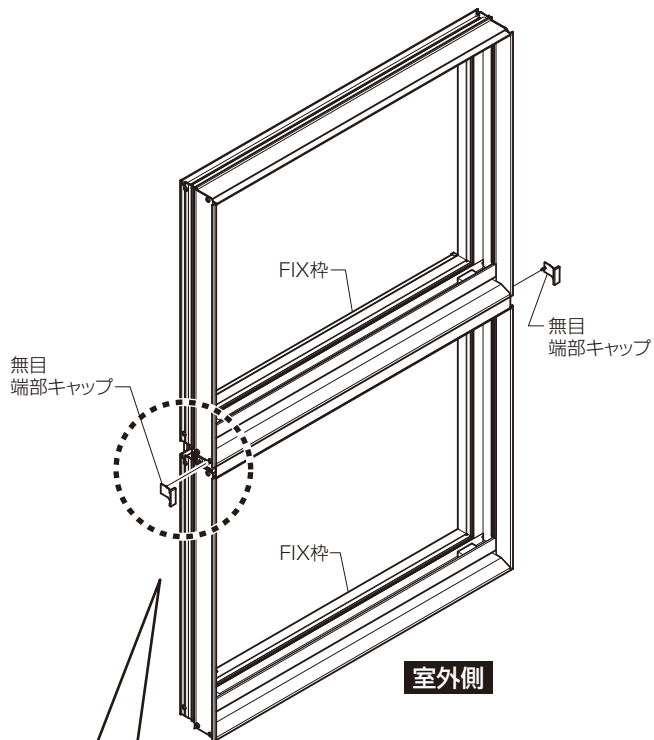
※アングルねじの締めすぎに注意してください。型材が変形などをおこさない程度に締付けてください。



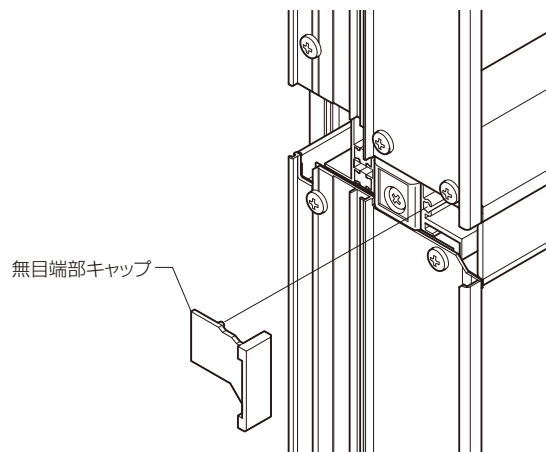
4 無目端部キャップの取付け

①無目のねじホールに無目端部キャップを挿入してください。

※キャップにはL・Rがありますので確認してください。



■拡大図



⑤無目端部防水テープの張付け

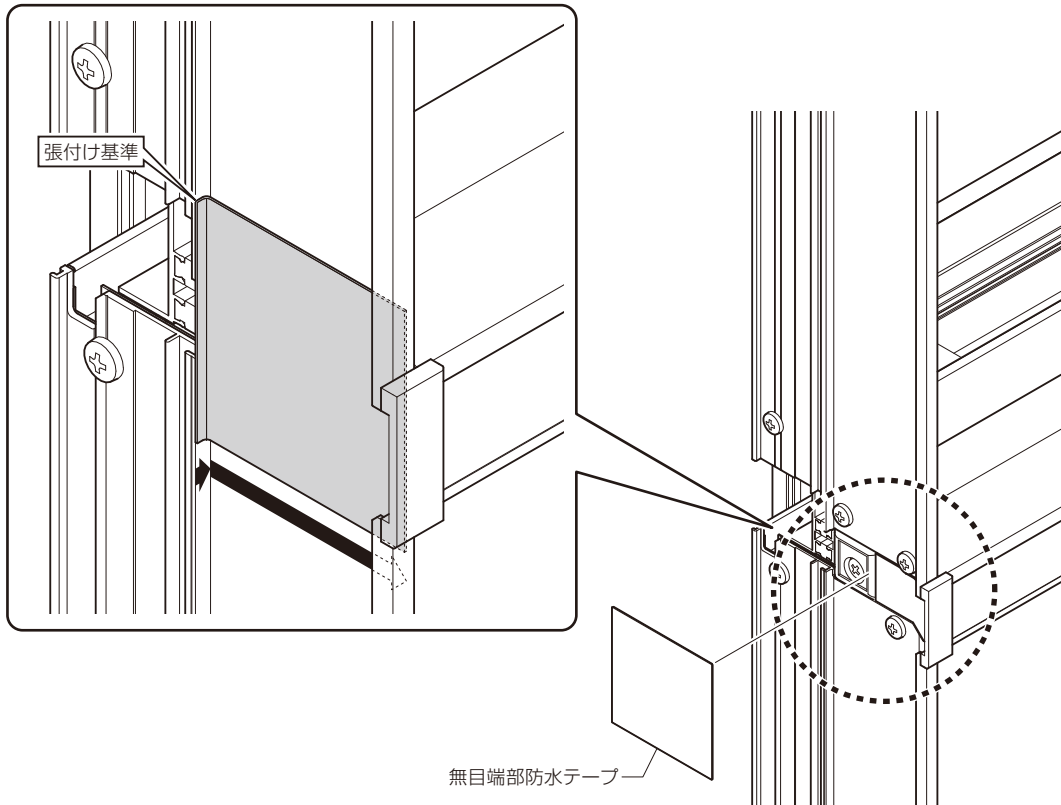
▲ 注 意



●無目端部防水テープは必ず圧着してください。漏水の原因になります。

①無目端部防水テープを張付け基準位置に合わせ、無目キャップと新設サッシ組立てねじを覆うように張付けてください。

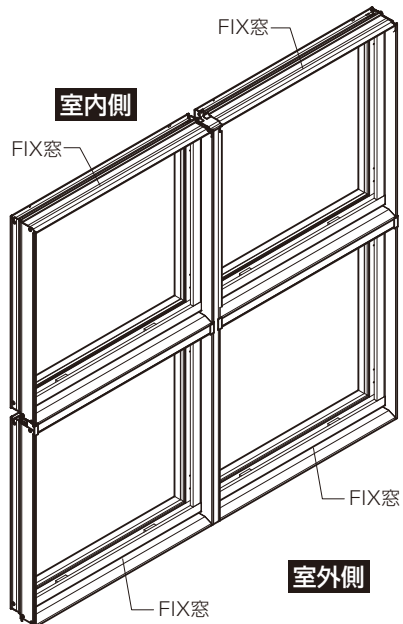
※コーナー部、組立てねじ部は必ず押さえてすき間があかないようにしてください。



■連段窓の場合の組立て順序

＜装飾連窓+装飾連窓の場合＞

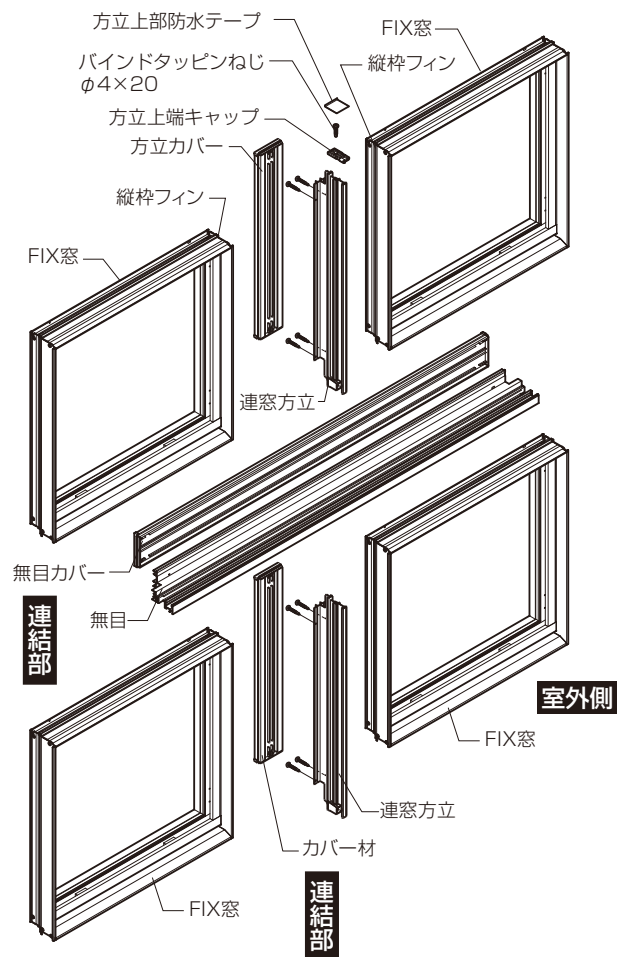
図は代表としてFIX連窓+FIX連窓になります。



Ⅰ連結前の準備

※連窓部の詳細は、「リプラス アタッチ枠 連窓方立 組立て説明書」を参照してください。

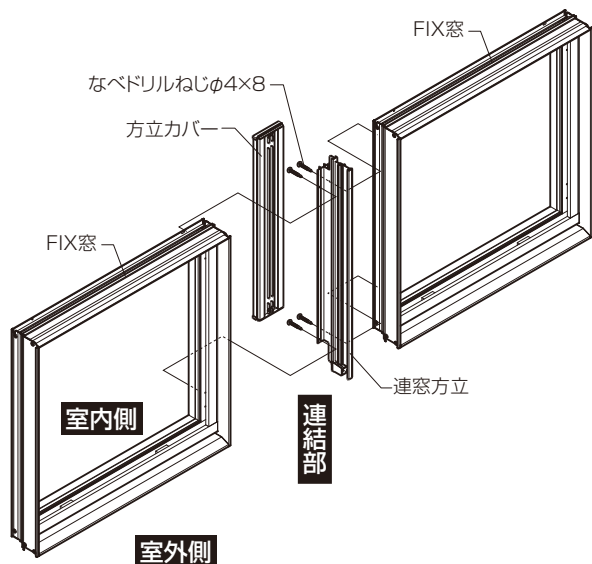
①FIX窓の枠をそれぞれ組立てます。



2 連窓部の組立て

- ①「リプラス アタッチ枠 連窓方立 組立て説明書」にしたがって、連窓方立と左右のサッシ枠を連結します。
- ②上部に段窓無目がある場合、方立上部防水テープ・方立上端キャップは使用しません。

【上部に段窓無目がある場合】



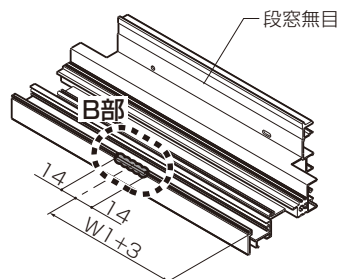
3 段窓部の組立て

※「P.3 3 段窓無目との連結」に従って、段窓無目と上下サッシ枠を連結します。

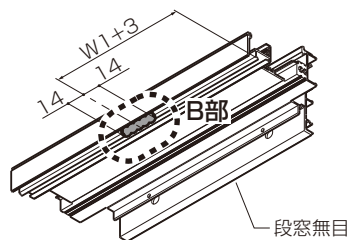
- ①段窓無目の連窓方立接続部(●部)を切欠きます。
※方立が複数の場合は、それぞれの連窓方立の接続部に対して切欠きを行ってください。

●連窓方立

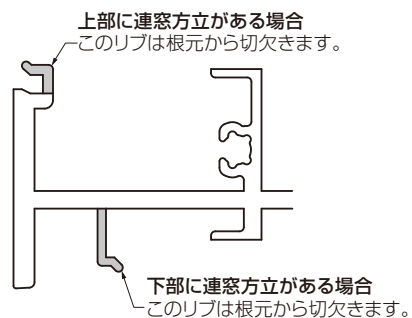
<上部に連窓方立がある場合>



<下部に連窓方立がある場合>



■B部詳細図



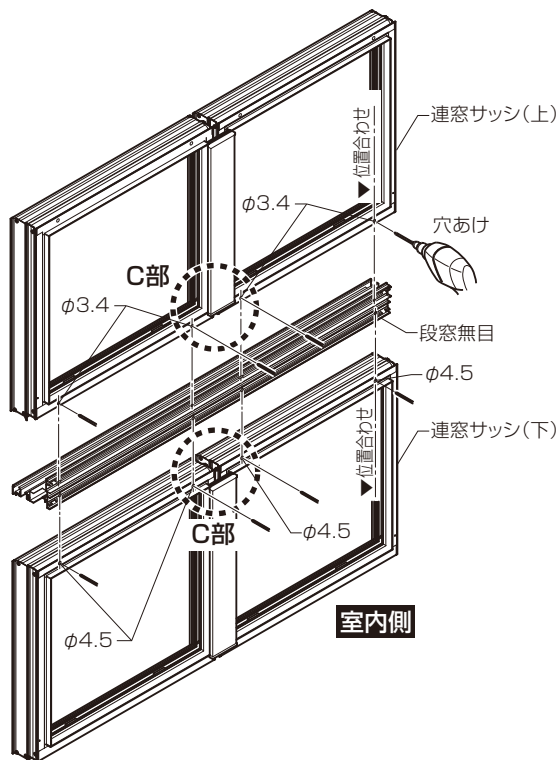
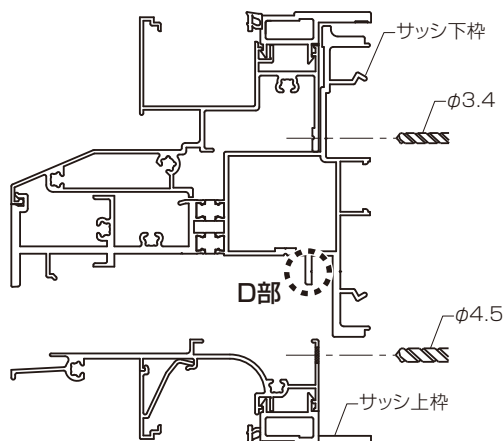
3 段窓部の組立て(つづき)

②連窓サッシ(上)と段窓無目の右端の穴で位置を合わせ、段窓無目のすべての穴に合わせてサッシ下枠に $\phi 3.4$ の穴あけを行います。

※段窓無目にサッシ下枠を押し当てて穴あけを行ってください。

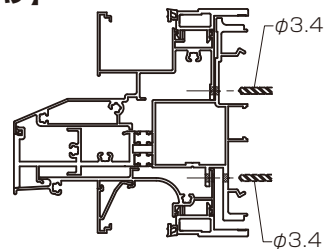
③連窓サッシ(下)と段窓無目の右端の穴で位置を合わせ、段窓無目のすべての穴に合わせてサッシ上枠に $\phi 4.5$ の穴あけを行います。

※段窓無目にサッシ上枠を押し当てて穴位置を決めてください。 $\phi 4.5$ の穴あけは段窓無目から連窓サッシを外した状態で行ってください。D部に $\phi 4.5$ の穴をあけるとねじが止まらなくなります。

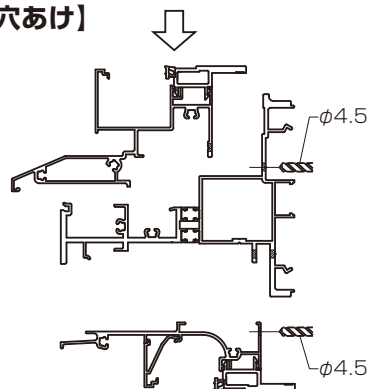


※段窓無目の穴がC部(連結する相手部材がない)にきた場合、右又は左に20mm程度ずらして以下の加工を行ってください。

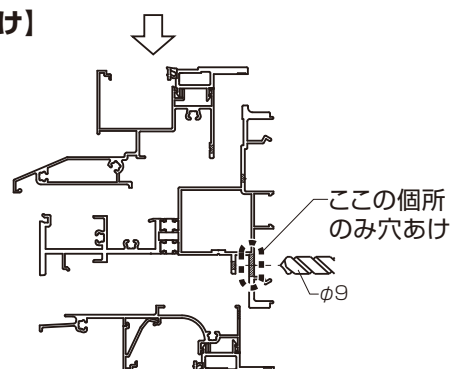
【 $\phi 3.4$ の穴あけ】



【 $\phi 4.5$ の穴あけ】



【 $\phi 9$ の穴あけ】



④段窓無目のすべての穴をねじ止めし、無目カバーをはめ込みます。

⑤「P.4 ④無目端部キャップの取付け」「P.5 ⑤無目端部防水テープの張付け」にしたがって、無目端部キャップ、無目端部防水テープを取付けます。

